

フォトで綴る!! 第13回 総会懇親会風景



「何年卒ですか？」
出席者で混雑した受付、ご苦労さん。



永松校長のご挨拶と田北同窓会長、他来賓の方々。



衛藤久住町長もご来賓として参加。

- プログラム
「総会の部」(12時～12時30分)
- 1、会長あいさつ
 - 2、会務・会計報告
 - 3、監査報告
 - 4、来賓挨拶
- 「懇親会の部」
(12時40分～15時30分)
- 1、開会のことば
 - 2、新会長あいさつ
(新役員紹介)
 - 3、乾杯
 - 4、会食・歓談
 - 5、アトラクション
 - 6、当番幹事引継ぎ
 - 7、「校歌」「荒城の月」斉唱
 - 8、閉会のことば



盛り上がったアトラクション、青春の歌声。
みんな若返ったかな？



渡辺五月さん、長い間ありがとう。
事務局離任に当って慰労金を贈呈。



若人と共に「青春時代の歌」を熱唱。



「楽しいなー、来年も絶対くるぞ」



若いっていいね。チョウ楽しかった！
8ページ声の欄に全員の感謝の声。



ポップス・ヒッパレー！ベンチャーズからビートルズまで。
演奏：エス・エム・シー

平成十一年度総会報告と 平成十年度会務・会計報告



幹事長(前)

西 誠
(昭30年卒)

〔一〕平成十一年度 総会報告

去る七月十七日(土)、新宿センチュリーハイアットホテルにおいて第十三回関東同窓会総会・懇親会が開催された。

永松校長、田北本校同窓会会長の他、本校同窓生でもある阿南参議院議員や衛藤久住町長もご来賓として臨席され、総勢一九三名が参加した。

長吉会長の挨拶にはじまり、会務報告、会計報告が承認されたあと懇親会に移った。

今年役員改選年になっており、森河さんによる当番幹事長挨拶のあと、続投される長吉会長より新役員の皆さんの紹介があった。新役員は本紙別掲の通りであります。今回退任された渡邊総務委員長、山口名簿委員長には長い間お世話になりました。

懇親会ではベンチャーズからピートルズまで会場を圧倒するばかりのバンド演奏から、戦中戦後の歌謡メドレーまで会場を

音楽一色に塗りつぶし、最後は荒城の月・校歌の斉唱で盛り上がった。

組織委員長のお骨折りで、上京組学生たち若者の紹介があったが、元氣撥刺はやりの清原ばかりの茶髪の男子や郷里の竹の中から生まれてきたような輝きばかりの娘さんたちを拝見して、先輩在京組として久々心強いものを感じた。総会冒頭、同窓生物故者九名の方々のご冥福を祈り黙祷を捧げたが、年々歳々花相似たり、年々歳々人同じからず、同窓会らしい哀切さを感じる一幕でもあった。

当日出席されなかった会員の皆さまには本紙面をお借りして以下平成十年度会務会計報告を致します。

〔二〕平成十年度 会務・会計報告

平成十年度(平成十年四月

平成十一年三月)

(1) 会務報告

- 平成十年四月二十三日幹事会
学士会館 出席三〇名
- 第十二回総会、懇親会準備状況報告、当番学年幹事案の承認

・前年度会計報告他各委員会活動報告

・竹田高女の校歌披露

●平成十年六月五日 役員会
学士会館 出席一名

・総会、懇親会における役割分担について

・総会、懇親会御来賓等運営内容再確認

・維持会員増強策について 各学年維持会員比率三〇%目標

●平成十年七月十一日
第十二回総会・懇親会

於ホテルセンチュリーハイアット 出席一五八名
当番幹事 昭三二年卒、昭四二年卒が担当

開会、会長挨拶、会務・会計報告、監査報告、来賓挨拶、乾杯

・アトラクションはプロによる「和太鼓」、生野良友氏によるピアノ演奏、校歌斉唱

・第十二回総会、懇親会の結果

郷土特産品コーナー設置、出席者全員土産

●平成十年八月二十二日
総会、懇親会の反省会

・役員、各委員会委員、学年幹事、当番幹事、於上野蓬来閣 出席三八名

・第十二回総会、懇親会の総括

・総会収支報告

●平成十年十月十二日 役員会

・若手会員名簿整理追加掲載の件
・県立高校関東同窓会連合会の活動状況について
学士会館 出席九名

・秋の幹事会日時、議題について

・幹事会の活性化について

・「竹田、東京懇話会」への対応について

●平成十年十一月十六日役員会

学士会館 出席三四名

報告
・各委員長提案、今後の課題及び方針等

・次年度総会に向けて日程の確認

・「竹田、東京懇話会」への対応について

●平成十一年二月十日 役員会

学士会館 出席八名

・役員改選について

・春の幹事会日時、議題について

・維持会員増強策について(特別維持会員制度案)

(2) 会計報告(表参照)

会計報告は平成11年6月14日に吉田忠・得丸大典監事が監査を実施し、適正且つ正確である旨の報告があり、総会において承認可決されました。

会計報告

収支計算報告書

(平10.4.1から平11.3.31まで)

1. 収入		
① 維持会費	1,947,640円	費料利息
② 総会費	1,165,000円	会費
③ 広報費	30,000円	会費
④ 総受	60,000円	祝利
⑤ 会取計	1,001円	
前期繰越計	3,203,641円	
合計	1,326,590円	
2. 支出		
① 総会費(第12回)	1,972,855円	費料利息
② 会報費	712,253円	会費
③ 会務通	428,748円	会費
④ 事務通	127,887円	会費
⑤ 会慶	16,090円	会費
計	3,257,833円	
前期繰越計	1,272,398円	
合計	4,530,231円	
3. 次期繰越の内訳		
① 現金	157,398円	
② 普通預金	1,114,416円	
計	1,272,398円	

上記の通り報告します。

平成11年5月21日 幹事長 西 誠

監査報告書

監査の結果、この収支計算報告書は、適正かつ正確であることを認めます。

平成11年6月14日 監事 吉田 忠 田丸 大 吉得 大 忠典

燃える!!

クラス会・同期会

竹菁会

平成10年度例会

後藤 誠一

(昭27年卒)

快晴の平成十年十一月八日、平成十年竹菁会例会が竹橋「ホテル東京」で開かれた。参加者、総数三十八名(女性十二名、男性二十六名)である。



竹菁会 平成10年度例会 H10.11.8

午後十二時定刻、当番幹事、久東君の司会で会は始まった。物故者(年々櫛の歯が欠けて行く)への黙禱、乾杯の後懇親会に移った。

と、もう周りは大分弁竹田弁の渦である。久方ぶりの出席者どうしの「どげえしちよったんかえ」の会話が飛び交う。

喋りまくり、飲みまくり、次回幹事に谷君外五名を選任、最後は恒例の校歌斉唱で締め括った。尚、竹田から出席した、藤井、入田の両君から参加者全員に「カボス」のお土産を戴いた事を付記する。

卒後三十周年式典に参加して、思うこと

田口由美子

(昭43年卒)

平成十年十一月一日。竹田高校第二十回卒業生の卒後三十周年記念式典は、一五〇人の出席者を集め開催されました。当日は秋晴れの上々の天気で、竹田の山々からも祝福の拍手が聞こえてくる様な日よりでした。

体育館ではじまった式典には、恩師の先生方のご参列をえて、阿南福登先生の記念講演やブラ

スバンドの演奏を楽しみました。終了後、マイククロバスにて、懇親会会場の「ホテル岩城屋」に移動しました。懇親会では先生方や、同級生のスピーチ、クラス毎のカラオケ、三十年前のスライドと盛りだくさんのプログラムに時を忘れるほどでした。

最後の「戦い勝てり」のストームは永遠に続いてほしいと切に願いました。懇親会終了後はクラス毎にバスに分乗して、二次会の会場へとむかいました。その夜は、竹田の街が不夜城になったかのようでした。

何年前だったかと定かな記憶はありませんが、子どもがまだ学齢前だったので、二十年近く前でしょうか、帰郷していた私は家の前を歩いているうちに語らいつつ歩いていく熟年(当時はそう思えた)の男女をみて、父に「何か今日あるんな?」とききました。

「竹田高校の卒後三十年の会があるとか云いよったで」「へえーそげなもあるんやなあ」「あんた達ん時もたぶんあるんとちがうか」

月日は流れ、当日の朝がきた。思えば高校卒業と同時に竹田を離れ、東京の生活の方がもはや長くなった。その間に私は母を亡くし、夫は父を亡くした。子



竹高43晩会 卒業30周年記念同窓会 H.10年11月1日

供達も三十年前の私の年を越し、そろそろ自活の道を歩みはじめる頃である。これ迄、私は学生生活は大学四年間であると思ひ、あまり楽しい時間ではなかった高校生活をあまり考えないようにしていた様な気がする。

部活もなく、ただ勉学に明けくられた三年間、一日九時間授業もあり、夏休みも補習の連日だった。友との語らうも学校の中だけで、学校以外の場所での友人関係を持つことはあまりなかった。

朝、実家の前に一台のタクシーがとまった。降りてくる人を待ちかねていた私。一目でお互いを確認した。関西に住む友と

五月の案内状が届いてからずっと連絡をとり続けていた。「絶対!絶対!会おうよ」「当日は夜遅くなるから家に泊まっついでよ」

三十年ぶりの再会を得た私達の間にはなんとなく暖かい空気が流れた様な気がした。

その後の一日は、私にとって生涯忘れることのできない日となった。これ迄、高校三年間にあまりいい思い出はなかったと考えていたのは間違いだっただ。あれも、これも、この人もあの人も、セピア色にはなっているけど、確かに私の高校時代だ。

“ご案内”

晩会記念誌の在庫が少々あります。申し込みは、下記へご連絡を!!

〒878-0011

竹田市大字会々1861-10

蔵司きくち内 43晩会事務局

Tel: 0974-62-2651

卒後30周年記念誌

大分県立竹田高等学校
434443年(第20号) 44年



竹高43晩会

竹田市制45周年記念イベント・インフォメーション この秋竹田は 友のしさいっぱい!!

メイン行事期間 9/25(土)~11/23(火)



大手門は、慶長18(1613)年、2代藩主中山久通の勧告されたもので、
特色は、大小2門の門扉で一貫した1段、幅11はあり、奥行き5.4mの威風凛々たる雄姿です。
この大手門が、実に176年ぶりによみがえります。市制45周年、21世紀へと新たな扉を開き、
「秋の陣」を中核とした市民参加型イベントを開催します。

荒城に今よみがえる大手門

9/25(土)~12/23(木) 9時~17時 (模擬復元竣工式は9/25(土)10時~)

市制45周年・河原太郎生誕120周年記念事業
筑紫哲也記念講演会

と き 11月13日(土)午前10時~
と ころ 竹田文化会館
入場料 無 料

演 題 『多事多難一春日・今日・明日』
講演会に入場希望の方は「入場整理券」が必要です。下記要項でお申し込みください。
◆入場整理券を受け取りにこられる人……竹田市役所総務課、深工職光課または竹田文化会館で入場整理券をお求めください。
◆お申し込みを受け取りにこられない人……住居ハガキの返信用に、住所・氏名・電話番号を記入の上、次にお申し込みください。
〒878-8555
竹田市役所 総務課秘書広報係
※「入場整理券」は、お1人1枚(先着順)。お申込み期限は10月29日(金)必着まで



●お問い合わせ 市総務課秘書広報係電話63-1043

ふるさと
故郷情報をお届け
してみました
(竹田市提供「広報たけた」より)

情報
たけた
Information
**Now
in
Taketa**

竹田市制45周年記念
マスコミ特キコラボ企画「キャッチフレーズ」が決定!

秋の陣
歴史と文化の始原
ふるさと文化の始原



たけた

「何……!?」「荒城の月」 が消える……!?」 竹田高等学校関東同窓会 を終えて

後藤 浩一
(昭27年卒)
平成十一年七月二十一日

発端は、友人、徳丸正哉君からの、一本の電話である。昨年十一月二十七日の電話は、「後藤、小中学校の音楽の教科書から「荒城の月」が外されるらしいぞ。これからファックスするよ。」であった。届いたFAXは、一九九八年十一月十九日付けの朝日新聞の記事である。曰く、一九五八年から、合唱用の共通教材として、教科書に盛り込まれていた「荒城の月」が小中学校の音楽共通教材から外され、将来姿を消す可能性がある……、云々、である。私にとって「荒城の月」には格別な思い入れがある。幼児から覚えた「荒城の月」を中学・高校を通じての音楽部時代、そして現在迄、幾十幾百回歌ったであろうか? 徳丸君には「個人では今急にどうしようもないので関東同窓会の長吉会長に諮ってみる」と伝え一旦電話を切った。十一月二十八日、長吉会長とやっと電話が通じた。後藤……「国民的な愛唱歌であり竹田高校同窓会諸氏にとっても看過出来ない問題であると思う。関東同窓会でも今直ぐ出来る事、例えば、

署名運動等、始められないものでしょうか?」長吉会長……「先日の「竹田会」(後藤は欠席)の開会前、控室でその話題が出、文部省の意図が那邊に有るか、を先ず探り、県とも相談し対処して行こう、と云う事だ。」……年末年始の忙しさにかまけていた時、一九九九年一月二十二日付けの朝日新聞に「滝廉太郎作曲の「荒城の月」を教科書に残そうと、大分県竹田市で「名曲「荒城の月」を二十一世紀に歌い継ごう市実行委員会」が発足した。」の記事が目に入った。一九九九年一月二十三日、前記市実行委員会宛てにこの問題に関する一文を送った。市役所からはなしの「飛碟……四月初旬、予て私がこの問題に関心を抱いている事をご存知の関東同窓会神田清広委員長(「臥牛」編集長)から、「週日TBSテレビがこの問題の特集をやってきたよ」との連絡を受けた。早速、同テレビ局にビデオのダビングを依頼したものの、一切この種の事はお断りしている、との返事を得た。

扱、四月二十二日の関東同窓会春の定例幹事会で神田広報委員長が口火を切ってくださったので、この問題を正式に提起した。長吉会長の発言……「四月に開かれた「竹田会」開会前の幹部懇親会(註、後藤は欠席)の席上でこの問題が話題となり、出席した阿南参議院議員に依頼し、同氏から「文部省事務

次官にこの案件を話しましよう」とのお約束を頂戴した。又教科書出版会社へも「歌い継ぐ会」が諸交渉を始めているそうです。」……

その後五月八日付けの朝日新聞夕刊に「小惑星「レンタロウ」「コウジョウノツキ」発見の関さん命名申請の見出しで小さな囲み記事が載った。曰く……「池谷・関すい星」の発見者として世界的に知られているアマチュア天文家関勉さんが一九九三年と九八年に発見した二つの小惑星をそれぞれ「レンタロウ(廉太郎)」「コウジョウノツキ(荒城の月)」と名付けたいと国際天文学連合(事務局・パリ)に申請、近く認められる見通しになった。教科書から消える可能性がある関廉太郎の名曲を、作曲者の名前とともに宇宙に永遠に刻もうと思いついた関さんは幼いころ、父親に初めて教えて貰った歌が「荒城の月」で、今では一番の思い出の曲という。……云々である。嬉しくなった私は直ぐその日に手紙を差し上げた。旬日を経ずしてご返事を頂いた。紙面の都合でお手紙をご紹介できないのが残念である。関先生の記事を始めてとして、新聞への投書、マスコミの対応を見るにつけ、この問題に関し、世間は大変関心を持ってくれているのだな」と意を強くすると共に、私も何か具体的にやらねばならないな、と今大変焦燥感に駆られている。

海外便り

韓国に住んでみて・ 外国人が見た韓国

「交通ルール守らぬ者が得をする」交通世情に一言

韓一金属工業株式会社
代表理事社長 古庄史郎

(昭38年卒)

国際免許で1年、国内免許取得2年少々、車線変更違反の罰金1回、韓国駐在3年半の外国人ドライバーです。韓国では運転禁止という会社が多い中、勤務地までの交通が不便、業績不振で運転技師は雇えないと勝手な理由をつけ、毎日ソウルから京畿道始興の工業団地まで自分で運転しながら通勤している。慣れてくれば便利なもので、最近では慶州や光州など遠出を樂しむこともある。しかし、毎日気になるのは、この国の交通マナーの悪さなど交通世情についてだ。

第2京仁高速道路(ソウルと仁川繋ぐ高速道路)石水インターの出口車線を一列に並び進んでいると最先端から割込む車が次から次へ。出口車線は、やがて2車線、3車線、6車線にも増えどうにもならない混雑に陥ってしまう。交通ルール守らぬ者が得をする。
早朝の京釜高速道路を110

kmのスピードで走っていると2000ccの私の車が130km以上は出しているのである。600ccの軽自動車に追い抜かれた。ソウルから天安までの50分間とうとう1台の車も抜くことができなかった。狭い国そんなに急いでどこへ行く? 龍山区二村駅近くの横断歩道を渡ろうとするがなかなか車が止まってくれない。数台目がやと止まってくれたところ後続車がドスンと追突。私のせいで御免なさい。

京釜高速道路の新沙洞付近、渋滞が始まると菓子や飲料水を売る者が2人、3人と出没する。やがて高速道路は青空市場に。空気は悪いし危険だと思ふのだ。

ソウル市内のバス専用車線、渋滞緩和とスピードアップに大変効果的。私も大いにバスを利用している。しかし、このバス達が専用車線と一般車線を出たり入ったりしながら走り回り、これがまた混雑を招く。バス専用車線以外は一般車優先にしよう。

ダンプカーに遭遇したら右側車線(韓国は左側が追越車線)を超低速で走るか、追越し車線を猛スピードで追い越すしかない。きちんと養生をしないまま土砂を積んで突っ走るからだ。自動車は大変便利な輸送手段であり、運転そのものがスポーツやレジャーにもなる。しかし、そのスピードや操作の容易さが

一歩誤ると大きな事故を生み「走る凶器」に変わる。だから、運転者は交通規則を遵守、車を正しく操作しなければならぬのだ。

しかるに、現状はルールを守らぬものが得をしたり、誤った操作や無謀な運転で迷惑かけても知らん顔の人が大勢。しかもこれらに対する世間の目が以外と寛容。一日も早く、外国人でも安心して運転できる交通世情になるよう、同じ道を走り、同じ信号を見ているドライバーの一人として、関係者すべてのご協力をお願いする。

「追記」

韓国へ駐在してまもなく4年になろうとしています。2年程前に韓国レポートを一度お送り致しましたが、その後皆様もご存じの通り経済危機に陥り97年11月以降IMF(国際通貨基金)の管理下におかれ、厳しい状況が続いております。しかし、韓国は対応が素早く、日本がバブル崩壊以後10年近く経ってやっと金融構造改革がなされようとしていますが、この国は経済危機後僅か1年で構造改革の骨組みがほぼ出来上がり、思ったより早く回復するのではないかと期待しています。
(今回は、一昨年5月に韓国有数の大新聞「朝鮮日報」に掲載された筆者の原稿を紹介しました。尚、本人は7月26日に帰国されました。)



ソウル駅前風景

会員特別寄稿

随筆

傘寿を迎えて追憶漫談

(第3話)

相談役

渡辺 正治

(昭10年卒)

10月19日(日)、一日市内見物。Empire State Bld.に登り、Daylight Circle 周航船でManhattan島を一周、好天気でお上りさんの行楽客で満員である。Empireでは「星を掴めたか」とからかわれた。折りから建設中の貿易センタービルはEmpireより高いのだと言う。一人の乗客がその鉄材は皆日本製だよと言う。トイレに行くところによって小便器の位置が非常

に高く用をたすのに骨が折れる。ふと便器を見る。Standardと書いてある。

先程から色々話しかけてくれる老紳士が隣で用をたして居るので、「これがStandardかなあ?」と言うと、彼が銘板を見乍ら「君はStandardだよ」と大笑いする。

New Yorkの数日を過ごし、目的のDetroit市に着いたのは10月23日であった。

Parker社に電話すると女性が出たので、「Get me please Mr. Hendricks」と言うとは何故か彼女の笑い声が聞こえた。電話に出た本人も何故かすぐ笑って居る。Hotel Statlerに居るので迎えの車を頼むと言うと、Hotelの前にタクシーがたくさん居るので、それを利用すれば10分とかからないとの返事である。

事実その通りで会社に到着すると、出て来たHendricks氏も笑いながら握手の手を離さない。数日後、幹部連とその夫人達との会食の席で、彼が君は誰から英語を習ったのかと聞くので、中学・高校と言うと「会話は何?」と言う。東京の駐留軍人達だと答えたら、「道理で君の会話はG.I. English (兵隊英語)だ」と言う。「Get me please」は一を呼んで来い。であり、一般には「May I speak to」でなくてはいけないとの事であった。*

ふるさと名所紀行

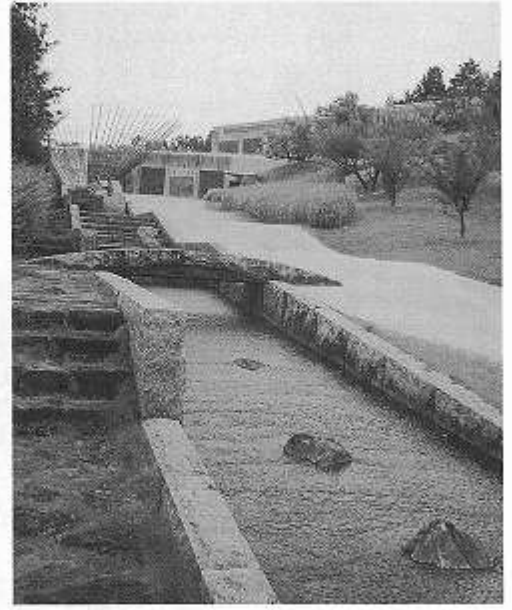
～朝倉文夫記念館(朝地町)～



記念館の展示室
手前は「三相」



代表作「墓守」



記念館の正面
石組みの流れに沿って行く



田能村竹田座像

朝地町池在出身、竹田中学を中退して上京、明治四十年東京美術学校を卒業。翌年から文展に出品、七年連続入賞を重ねて一躍、時代の寵児となった。以来、大正・昭和を通して彫塑界の最高峰として活躍、昭和二十三年に文化勲章を受章。その後帰郷して竹田高校を訪れ、全校生徒の前で文化勲章を披露し拍手を浴びた。私も同席していたが、文化勲章を肩から胸にかけて羽織袴姿の風貌に接し感動したことをよく覚えている。八十一歳で没。



晩年の朝倉文夫

朝倉 文夫

(明治16年～昭和39年)

宮崎寛一郎
(昭26年卒)

朝倉文夫記念館(朝地町)

空高くヒバリがさえずり、どこからかウグイスが鳴く。そんなのかな、やすらぎの里が愛の園生・朝倉文夫記念公園だ。朝地町の生家のすぐ近くにある。生前から計画されていた文夫自身が描いたユートピア。永い間の夢がかなって、町の肝入りで平成三年に完成した。敷地面積十六ヘクタール。展望台や円形広場、野鳥の森、芸術の水辺、陶芸小屋などを配したスケールの大きな公園。

そのメイン施設が記念館だ。代表作約六十点を町が購入、うち三十八点を展示している。主なものは、初期の「墓守」「進化」など、それに滝廉太郎像や田能村竹田座像、猫シリーズ、戦後の傑作「平和来」など。いずれも彫塑界の第一人者として時代をリードしてきた作品で、朝倉文夫の全容が手にとるように分かる。一人の作家の美術館としては九州でも一、二を争う水準の高い記念館だ。

また一年おきに、ここで開かれる大分アジア彫刻展は、現代彫刻の一大イベントになっており、公園内のあちこちに入賞作品が飾ってある。

鑑賞のあと、レストランで一服し、庭を少し歩けば、心が洗われて「澄んだ気分」にさせてくれるし、朝倉芸術の余韻にひたることができる。一度、訪れると二度、三度と訪れたいくなるような魅力いっぱい場所である。豊後竹田駅前からタクシーで約二十分。(月曜日休館)

※前頁から続き

C.I.はGovernment Issueの官給品の意味である。米国では一般市民をTax Payer、官僚や軍人はTax Eaterと言うそうである。彼は自分も「二だったのだ」と言って、奥さん達も大笑いして居た。以来彼とは長年に渡る友人となったのである。

来日した彼と混雑する高速道路を鈍行して居ると、「東京の高速道路はHigh Wayではあるが、High speed Wayではないねえ」と言う。「高速では無くて拘束道路だよ」と言おうと思っただが、拘束・Restrainという言葉が出ない。G.P.「Long long parking way」二人で笑ったものである。

その後彼から「日本はTax Eater対Tax Payerの比率が米国より非常に高い由だね」と聞かれたが返事が出なかった。因みに調査の結果は次の様で驚いてしまった(1984年度)。

① 国会議員	763
② 国家公務員	1,913,972
③ 地方公務員	3,304,480
④ 合計	5,221,127

①	535
②	4,484
③	約4,000,000(50州)
④	4,005,019

日本では就業人口(5,400万)の約10%であるが、米国では5%以下である。

声



大久保 寛之・竹田高校の出身者としてその名に恥じぬよう、更なる努力をしようと、身のひきしまる思いをしました。
山口 慶明・おいしい物を沢山食べてよかったです。

●関東同窓会に誘って戴いて

学生九名感謝の声

森 幹生・「竹田の空気」を感じられて、すごく楽しかったです。

羽田野 賢介・竹田高校を思い出せて、とても懐かしく感じました。

後藤 亮太・初めて参加するこの様なパーティーにとってもびっくりしました。竹田高校への想いがより強いものとなりました。

後藤 卓・久しぶりに「Cサワー」を飲めてそれだけで十分です。機会があれば参加してみたいです。

渡邊 大蔵・色々食べられて、懐かしい友達にも会えてすごく楽しかったです。

川合 祐子・東京にも竹田出身の方が大勢いる事を知って感慨深いものがありました。

井筒 有香・竹田高校出身の先輩方がとても素晴らしい人達ばかりでとても楽しいパーティーになりました。

●入会方法・会費等を知らせて欲しい

現在、仕事でオーストラリアに来ていますが、来年7月には帰国の予定です。先日、竹田高校同窓会関東支部から会報が送られ大変驚きました。そのようなものが存在するとは全く知りませんでした。大変勝手ではあります。下記住所まで竹田高校同窓会関東支部がどのようなものであるのか、特に入会方法、会費、事務局住所を教えてください。よろしくおねがい致します。

(平成11年11月)

Hideyuki Kajiwara
Graduate House, Leicester Street
Carlton, Victoria 3053
Australia

〒305
茨城県つくば市観音台2-1-12
農水省農業生物資源研究所
生物工学部遺伝子設計研究室

会員の皆様へお知らせ!!

訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

- 久保 礼五様(昭3年卒) 平成10年10月27日 没
- 匂坂シズ子様(昭5年卒) 平成11年1月18日 没
- 谷 正彦様(昭6年卒) 平成11年4月2日 没
- 高橋 満吉様(昭8年卒) 平成10年8月9日 没
- 益永 孝様(昭8年卒) 平成11年1月5日 没
- 佐藤 皓一様(昭13年卒) 平成10年9月11日 没
- 堀 巨様(昭25年卒) 平成10年8月25日 没
- 河野 尚之様(昭25年卒) 平成11年1月10日 没
- 岩屋 宣文様(昭39年卒) 平成11年4月21日 没

竹田会

里見豊会長を偲んで



故里見会長
田部 修士 (昭42年卒)

平成11年7月5日突然乍ら竹田会里見会長(日本パーカライジング・社長)のご逝去を知らされた。ご家族の皆様は固より、長年に渡り公私共にご厚誼を賜った私共にとつて言葉に尽くせぬ思いであった。努めて明るく健康そのもので、公私共に休まれることを知らず、ゴルフの達人でもあった。7月7日上野・輪王殿にて密葬、7月28日青山葬祭場にて社葬が執り行われた。社葬には朝からの猛暑にも拘わらず2千人を超す弔問客が訪れ、触れ合いを大切にされる会長のお人柄が偲ばれた。

竹田会は故人の父上・故里見雄二氏(日本パーカライジング・創業者)が、関東同窓会とは別に、広く竹田に縁のある方々の親睦会を昭和26年に創設されたが、その意思を受け継がれて前会長田部健氏の後、昭和63年から竹田会会長をされておられました。里見会長には竹田会のみならず関東同窓会にも多大のご支援を賜りこの紙面を借りて御礼を申し上げますと共にご冥福をお祈り申し上げます。

詩歌・文芸

万葉回廊

石原 田鶴子 (昭14年卒)

十四年読み継ぎて来し万葉集今日終わりたり家持の歌にて

一首づつ丹念に読みたる歲月よ四千五百十六首なり

一首目の「籠もよみ籠持ち」読みし日のかの感激は今も忘れず

一回目にわれら歩みし明日香野は自販機一つも無き里なりき

山の辺の道傍に小さき古墳いくつ眠れるもの立ちて来ませよ(歌人舎二十首詠の内の五首)

あとがき

※「投稿」をお待ちしています。

若い世代の皆様は「クラス会情報」や「特別寄稿」等々ご投稿を特に期待しお待ちしております。

投稿内容

- ①クラス会情報
- ②故郷の便り
- ③海外便り
- ④会員の語らい
- ⑤詩歌・文芸
- ⑥会員の催し
- ⑦会員消息
- ⑧その他

連絡先

〒279-0022
千葉県浦安市今川2-10-31
神田 清 宛(広報委員長)
☎047-354-9456

◎竹田会

・平成11年11月26日(金) 予定
PM 6時
・中野サンプラザ10F
芙蓉の間